

資料－１ 神崎市都市計画マスタープラン策定経緯等

神崎市都市計画マスタープラン策定経緯

年 月 日	事項及び内容
平成２３年 ６月２４日 ～７月３１日	まちづくりアンケート調査実施
１２月１９日	第１回まちづくりワークショップ実施
１２月２２日	平成２３年度第１回神崎市都市計画審議会
平成２４年 １月１２日	第２回まちづくりワークショップ実施
１月２６日	第３回まちづくりワークショップ実施
２月１４日	第４回まちづくりワークショップ実施
２月２７日	庁内関係課協議
３月 ５日	平成２３年度第２回神崎市都市計画審議会
３月 ７日 ～２１日	パブリックコメントの実施
３月１２日	佐賀県（まちづくり推進課）との協議
３月１３日	庁内関係課協議
３月２３日	平成２３年度第３回神崎市都市計画審議会

## 神崎市国土利用計画審議会への諮問及び答申

(諮問)

神崎市都市計画マスタープラン策定について

神埼都市計画マスタープランについて、別紙計画にもとづき策定したいので、神崎市都市計画審議会設置条例第2条の規定に基づき、貴審議会の意見を求める。

平成23年12月22日

神崎市長 松本 茂幸

(答申)

平成24年3月26日

神崎市長 松本 茂幸 様

神崎市都市計画審議会

会長 山口 義文

神崎市都市計画マスタープラン（案）について（答申）

平成23年12月22日に諮問のありました、神崎市都市計画マスタープラン（案）について、本審議会では慎重に審議した結果、別冊の通りまとめましたので答申します。

なお、各施策の実施に当たっては、本審議会の意見等を十分尊重され、神崎市の将来像であります「暮らしやすさと活力にあふれた魅力ある未来都市」の実現に努められるよう要望いたします。

平成 23 年度神崎市都市計画審議会委員名簿

区 分	委 員	所属及び役職など
住民	○ 鶴 廣信	神埼町地域審議会長
	嶋 榮	千代田地域審議会副会長
	實松 英治	脊振地域審議会長
識見者	吉岡 勇	神崎市農業委員会長
	松田 敏	佐賀県農業協同組合神埼地区担当常務
	古賀 義治	神崎市商工会長
市議会 議員	田原 和幸	産業建設常任委員
	◎ 山口 義文	産業建設常任委員
関係機関	古川 繁樹	佐賀県佐賀中部農林事務所長
	小渕 重義	佐賀県神埼土木事務所長

◎ 会長      ○副会長

(敬称略)

# 神崎市都市計画審議会設置条例

平成 21 年 9 月 28 日  
条例第 30 号

## (設置)

第 1 条 都市計画法（昭和 43 年法律第 100 号）第 77 条の 2 第 1 項の規定に基づき、  
神崎市都市計画審議会（以下「審議会」という。）を置く。

## (所掌事務)

第 2 条 審議会の所掌事務は、次の通りとする。

- (1) 市長の諮問に応じ、都市計画に関する事項について調査審議すること。
- (2) 都市計画に関する事項について、関係行政機関に建議することができる。
- (3) その他、市長が都市計画上必要と認める事項に関すること。

## (組織)

第 3 条 審議会は、次に掲げるものにつき市長が任命する委員をもって組織する。

- (1) 識見を有するもの 3 人
- (2) 市議会の議員 2 人
- (3) 関係行政機関の職員 2 人
- (4) 住民 3 人

2 委員の任期は 2 年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

3 委員は再任を妨げない。

## (臨時委員及び専門委員)

第 4 条 審議会に、特別の事項を調査審議させるために必要があるときは、臨時委員若干人をおくことができる。

2 審議会に、専門の事項を調査させるため必要があるときは、専門委員若干人を置くことができる。

3 臨時委員及び専門委員は市長が任命する。

4 臨時委員は、当該特別の事項に関する調査審議が終了したとき、専門委員は当該専門の事項に関する調査が終了したときは、それぞれ解任されるものとする。

## (会長及び副会長)

第 5 条 審議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長の選任は、委員の互選によるものとする。

3 会長は、会務を総務し、会議の議長となる。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

## (会議)

第 6 条 審議会は、会長が招集する。

2 審議会は、委員及び議案に係りのある臨時委員の 2 分の 1 以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席した委員及び議案に係りのある臨時委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

## (答申)

第 7 条 会長は、諮問事項を議決したときは、速やかに市長に答申しなければならない。

(庶務)

第8条 審議会の庶務は、産業建設部建設課において処理する。

(委任)

第9条 この条例に定めるものの他、審議会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附則

この条例は、公布の日から施行する。(平成21年9月28日)

## 資料－２ ワークショップの記録

### １．ワークショップの概要

#### （１）ワークショップの目的

神埼市の課題や今後の将来像について、ワークショップ形式で市民のみなさんから様々な意見をいただき、その内容を「神埼市都市計画マスタープラン」に反映させ、市民の視点に立ったまちづくりを推進することを目的としています。

#### （２）ワークショップとは

「ワークショップ」とはいわゆる会議形式ではなく、あるテーマについて立場や経験の異なる参加者で対等に自由に意見を出し合い、お互いの意見や立場を楽しく学びあいながら、積極的に交流し、アイデアを出し合う手法のひとつです。

具体的には、少人数のグループに分かれて話し合いを行い、自由な発想のもと、付箋に書いた意見を大きな紙に貼り出し、参加者のみなさんの意見をまとめていきます。

#### （３）開催経過

	開催日時	検討テーマ	参加人数
第１回	平成 23 年 12 月 15 日 19：00～21：00	ガイダンスと まちの通信簿の作成	30 名
第２回	平成 24 年 1 月 12 日 19：00～21：00	地域の点検マップの作成	20 名
第３回	平成 24 年 1 月 26 日 19：00～21：00	地域の将来像と 具体的取り組みの検討	18 名
第４回	平成 24 年 2 月 14 日 19：00～21：00	地域の重点プロジェクトの作成	14 名

## (4) 実施内容

### ■ 第1回～ガイダンスとまちの通信簿の作成～

#### ①ガイダンス

ワークショップの進め方やルール、都市計画マスタープランについて、共有します。

#### ②「まちの通信簿」の作成

5つのテーマについて、採点とその理由をみんなで意見しあい、まちの問題点や資源をレーダーチャートで視覚的に整理・共有します。



### ■ 第2回～地域の点検マップの作成～

#### ①地域別にグループ分け

神埼町、千代田町、脊振町の3地域別にグループ分けを行います。

#### ②「地域の点検マップ」の作成

前回の5テーマに沿って、各地域の問題点・改善すべき点と、各地域のお宝をみんなで出しあい、地域の問題点や資源を視覚的に整理・共有します。



### ■ 第3回～地域の将来像と具体的取り組みの検討～

#### ①「地域の将来像」の作成

「地域の点検マップ」をもとに、将来の夢やキャッチフレーズ等を決め、それを皆で共有します。

#### ②地域の取り組みの整理

その実現に向け取り組みアイデアを出し合い整理します。



### ■ 第4回～地域の重点プロジェクトの作成～

#### ① 地域の重点プロジェクトの検討

地域における取り組みアイデアについて、重点的なものを絞り込み、それを実現するための具体的な企画を考えていきます。

その企画については提案書としてとりまとめ発表し、地域別構想に活かしていきます。

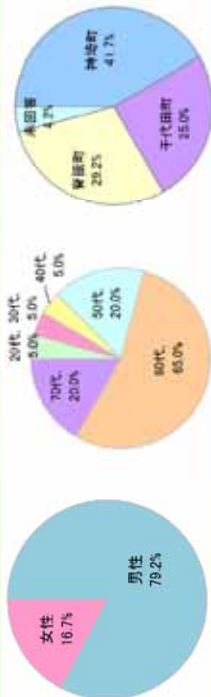


## 2. 各回のワークショップニュース

計4回のワークショップ開催の結果を各回ごとにニュースとしてまとめました。次ページ以降にその内容を掲載しています。

ニュースには、回ごとの検討テーマ、皆さんの検討作業の結果、および各回ごとにお願ひしたアンケートの集計結果を整理しています。

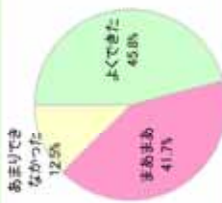
問1 参加者のみなさんについてお知らせください。(性別・年齢・お住まい)



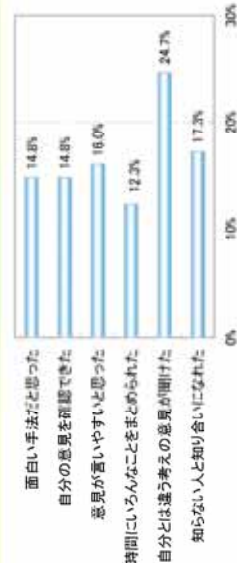
問2 本日のワークショップ全体の印象はいかがでしたか。



問3 グループ内の議論はいかがでしたか。



問4 今回のワークショップの手法についてお伺いします。



自由意見 (意見抜粋)

- ・もっと若い人が参加して欲しい。若い世代(20代)の参加があれば。
- ・1回目で知り合いになったという所まではいいが、知らないが楽しかった。
- ・意見の地域差がこんなにも大きいという事を初めて知りました。
- ・青森から千代田と千代田の遠いで生活環境の違いが分かりました。
- ・もう少し自由に活かせる時間が欲しい。
- ・グループ別の配置を考えた欲しい。近すぎて話が通じにくかった。
- ・防災、住環境、その他いづれももっと深いところがあると理解すべき。
- ・交通、防災重要、話したい。
- ・神奈川の歴史と文化を活かした町作りの為に、市民が一体となった活動が必要と感じた。
- ・神奈川全体が素晴らしい町づくりが実現する事を望んでいます。そして又それが都市計画に大いに反映でき、活かす事を心から願っています。
- ・ワークショップを行う際に、行政としての最良の都市計画を考えているのか、具体的に方向性を示して欲しい。何が当然として行っている部分があります。
- ・市の活性化に雇用が必要で企業誘致を積極的に行って欲しい。

# 第1回 神崎市まちづくりワークショップ

## いまの神崎市を採点してみよう!

～ プログラム ～

1. 開会
2. あいさつ
3. ガイダンス
4. グループわけ・自己紹介
5. 「まちの通信簿」の作成
6. 発表・意見交換
7. 閉会

「神崎市まちづくりワークショップ」は、神崎市の課題や今後の将来像について、市民のみなさんから様々な意見をいただき、その内容を現在策定作業中の「神崎市都市計画マスタープラン」に反映させ、市民の視点に立ったまちづくりを推進することを目的として実施するものです。

12月15日(月)に第1回としてガイダンスおよび「まちの通信簿づくり」をテーマにワークショップを行い、約30名の方が参加されました。

第1回目となる今回は、4つのグループに分かれて作業を行っていただきました。市内での暮らしに関する現在の満足度を、5つのテーマ(住環境、みどり・景観、観光・にぎわい、防災、交通)ごとに5段階で採点していただきました。採点付けした満足度をグループごとにとりまとめ、リーダーチャートに整理しました。

テーマごとにさまざまな意見が出されましたが、各グループのリーダーチャートは全体的に似た傾向となり、参加者の皆さんが現在の神崎市での暮らしについて思うところは概ね共通していることがわかりました。



### ワークショップの構成

第1回 平成23年12月15日(木)  
●「ガイダンスとまちの通信簿づくり」  
いまの神崎市での暮らしについて、現在の満足度を自己評価していただきました。

第2回 平成24年1月12日(木)  
●「地域の点検マップの作成」

第3回 平成24年1月下旬予定  
●「地域の将来像と取組みの方向性の検討」

第4回 平成24年2月上旬予定  
●「地域の重点プロジェクトの作成」



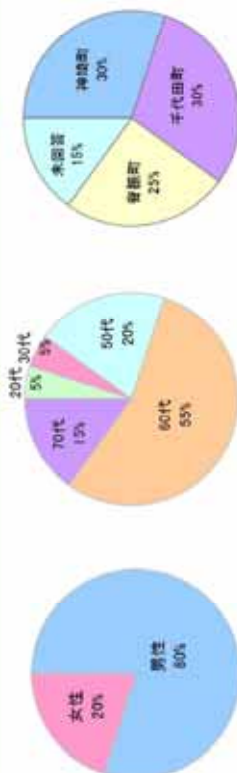
# いまの神埼市を採点してみよう

神埼市のまちづくりの将来を考えるためには、まずは現在の暮らしの状況について振り返り、満足している点や改善すべき点を洗い出すことが必要です。今回は、参加者が4つのグループに分かれて、神埼市での暮らしの満足度を下記のテーマ別に採点し、その班別を議論することで、神埼市の現状について認識を深めました。

	結果発表のようす	住環境	みどり・景観	観光・にぎわい	防災	交通
1 班		<ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽</li> <li>・静か</li> <li>・ゴミがきれい</li> <li>・買物に不便</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広電を中心に良い所です</li> <li>・田畑が多い</li> <li>・山が豊かである</li> <li>・空気がおいしい、緑がきれい</li> <li>・緑が多い</li> <li>・蓮の花ピンク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の集まりが少ない</li> <li>・活気がない</li> <li>・山通りが寂しい</li> <li>・名所目録がない</li> <li>・名所はある人が集まってこない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだまだと思う</li> <li>・地域では防災の整備は城原川の底上げが必要</li> <li>・災害(水害)怖い</li> <li>・川・クリークの安全性</li> <li>・非常に危険である。河川整備不足</li> <li>・河川の防災対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東西南北どちらへも行く事が出来る</li> <li>・便利が悪い</li> <li>・道路の整備が</li> <li>・公共交通機関の不足</li> <li>・道路条件が悪い</li> <li>・道路が狭くて事故のことが心配です</li> </ul>
2 班		<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の付き合いが悪い</li> <li>・ゴミ回収が早い</li> <li>・川、田園風景</li> <li>・下水を各家庭の浄化槽で処理後城原川で流れている</li> <li>・金井下水道区域外の家庭が多く、近くの水田に汚水が流れている</li> <li>・放置農地と雑草が茂っている</li> <li>・人の家の後始末をしてない人がいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九州一広大な景色、平野</li> <li>・黄金色の稲</li> <li>・樹田の緑・清流がとても良い環境</li> <li>・自然が一杯・農地も狭いながらも整備済み</li> <li>・河川の法面が崩れている</li> <li>・樹木が少なく、景観の単体化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長崎街道の商店街であり祭りやイベントも多岐にわたります</li> <li>・歴史ある郷土であるがPR不足、街並みの魅力が低い</li> <li>・全国的に商店街が疲弊している、人型商店街に客が来ない</li> <li>・高取公園があるけど集客力が弱い</li> <li>・資源はあるが、観光資源が不足している</li> <li>・観光資源として立派な商店街があるが賑わいを感じない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地盤が高く洪水の心配もなく避難所も多岐にわたります</li> <li>・消防活動等よくやっている。洪水でもいざ避難するが建物がない</li> <li>・県道沿い城原川の人雨による崩れ復旧が遅い</li> <li>・水害の不安がある(特に流水が流れを害く)</li> <li>・城原川の土上防災</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通の便がよく、高速・鉄道・飛行場へも不便を感じない</li> <li>・県道神埼及安線の1事が止まっている。完成すればもっと便利になる</li> <li>・市街地の道路整備が出来ていない</li> <li>・公共交通が足りない</li> <li>・県道沿いに歩道がない(通学路)</li> <li>・除雪が遅い</li> <li>・公共交通機関の不便さ、障害者対応がない</li> </ul>
3 班		<ul style="list-style-type: none"> <li>・4点：汚水処理やマナーに問題があるが住みやすい</li> <li>・一丁建てを所有する人が多い。家賃が安い。うるさくない。</li> <li>・古い・雑地、ゴミ処理、水道不便</li> <li>・敷地が広い・ガレージや倉庫が多い</li> <li>・生活環境は充実しているが少子高齢化が進んでいる。自治力の低下。</li> <li>・家付の道路が狭くて車が通れない</li> <li>・食事、買物の店が少ない。為、神埼市外に多く車が多い(特に老人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4点：緑が多くて景色もよいが、单调な感じ</li> <li>・農村地帯で緑が多いが障害物も多い</li> <li>・家の前が田んぼ公園になっている</li> <li>・山畑が多い所は時期により・面線・落ち着く、夜が暗い、変化が少ない。</li> <li>・神社、寺に緑が多い</li> <li>・水田・水田にあり</li> <li>・城原川、背後の山々、樹田宮</li> <li>・緑はあるけど景観はあまり良くない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2点：観光資源はあるが、皆が少なく、商店街も寂しい</li> <li>・地域(部落)の祭りのイベント等が多くなってきた</li> <li>・特に見に行こうと思えるものがない</li> <li>・商店が少なく、ハンギョー祭りの集客低下。</li> <li>・後鳥羽神社あり、活用不十分。</li> <li>・町道沿いの物がない</li> <li>・何もありません</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3点：自主防災はよくやっているが、洪水やけがれが心配</li> <li>・家の裏に砂防ダムが出来たので安心</li> <li>・自治防災(消防団)さらに充実(自衛性)</li> <li>・水路法整備、クーラーの防水対策</li> <li>・治安が良い、夜がとて暗い、水害事故が多い、消防団に加入者が多い</li> <li>・地すべり対策不十分で危険。火災予防対策が必要。</li> <li>・城原川の氾濫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3.5点：交通の便はよいが、市内のバスや道路整備は不十分</li> <li>・道が狭い、子供が安心して歩けない</li> <li>・JR、バス、公共、タクシー等ほぼOK</li> <li>・公共機関がない、道路の整備は満足</li> <li>・自転車が多い、歩道が狭い</li> <li>・駅がない</li> <li>・バスの本数が少ない、値上げ</li> <li>・神埼、背後へ行く公共交通が少な</li> <li>・車がなければ、不便は感じない</li> <li>・バスの運行が少ない</li> <li>・通学バスは本数極少。道路狭い</li> </ul>
4 班		<ul style="list-style-type: none"> <li>・3点：だいたい住みやすいが、高齢化でこれから心配</li> <li>・ゴミ収集、下水道整備</li> <li>・古い・土地の中での住居</li> <li>・学校の遠い、公共施設・住居が少ない</li> <li>・市街地の家が多い</li> <li>・家が少なく多くなっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4点：農地や山の緑、水辺がよいが、景観はそれ程でもない</li> <li>・良好</li> <li>・水環境が良い</li> <li>・良好</li> <li>・緑も多、ガレージも多い</li> <li>・子供連れの遊ば公園がない</li> <li>・市内に緑が少ない、公園がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2.5点：観光資源は少なく、あっても活用されていない</li> <li>・名所目録なし</li> <li>・数が少ない</li> <li>・観光計画がしっかりとされているとは思えない</li> <li>・長崎街道を軸として樹田宮</li> <li>・川は水田があるが、来てくれる人はいない</li> <li>・人が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3点：治安がよく防災組織も活発だが、氾濫や崖崩れが心配</li> <li>・地盤問題</li> <li>・河川の治水</li> <li>・防災計画がしっかりとされているとは思えない</li> <li>・消防団が少ない</li> <li>・消防マップを作っていない</li> <li>・防火槽、道路土</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3点：バスが不便で道も狭く、車がないと生活できない</li> <li>・便利</li> <li>・道路整備</li> <li>・道路計画が見えない。道路整備、公共交通機関</li> <li>・信号機が少ない</li> <li>・車を持っている人は多いが老人さんは動けない</li> <li>・便が悪い</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・3.5点：家は広く暮らしやすいが、空き家が増えて不安</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4点：緑や水環境がよいが、市街地には公園や緑が不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2.5点：人を呼べる資源が少ない、賑わいも少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3点：氾濫や崖崩れ対策が不十分。自分達のマップが必要</li> </ul>	



問1 参加者のみなさんについてお知らせください。(性別・年齢・お住まい)



問2 本日の「地域の点検マップの作成」作業はいかがでしたか。



問4 本日のワークショップ全体の印象はいかがでしたか。



その他 (欠席者から頂いたご意見)

- ・神楽町門(商店)は非常に賑わっていた。商店街も昭和30～50年代、約300店舗で人々が多く集った時代だった。
- ・現在店舗は激減。シャッター店増加が心配。小売業は特約店方法での販売で取扱を失うことなくは難しい。
- ・商店街の中で一歩上り田舎町並みになる。市の色んな資源の土地及び売地(増築)をつなぐ。市の中
- ・心算(御田宮をからめて)の増築ができたと思ふ。
- ・神楽の豊かな緑と水の町で、良港、川で水遊びが出来るといい。
- ・神楽宮の地の水を利用し、町に活気を促す方法がある。
- ・市民の方々の温かいご理解があれば、市内は変わっていく。また、町内を生活の場として活かしたい。

# 第2回 神楽市まちづくりワークショップ 地域の点検マップを作成しよう!

## 本日のプログラム

1. 開会
2. あいさつ
3. 前回の振り返りと情報提供
4. 本日の進め方の説明
5. 自己紹介
6. 「地域の点検マップの作成」
7. 発表・意見交換
8. 閉会

## ワークショップの構成

第1回 平成23年12月15日(木)

●「ガイダンスとまちの通信簿」

第2回 平成24年1月12日(木)

●「地域の点検マップの作成」

各町の「良いところ」「悪いところ」を具体的に出し合い、地図上に整理しま

第3回 平成24年1月26日(木)

●「地域の将来像と  
具体的な取り組みの検討」

第4回 平成24年2月上旬予定

●「地域の重点プロジェクトの作成」

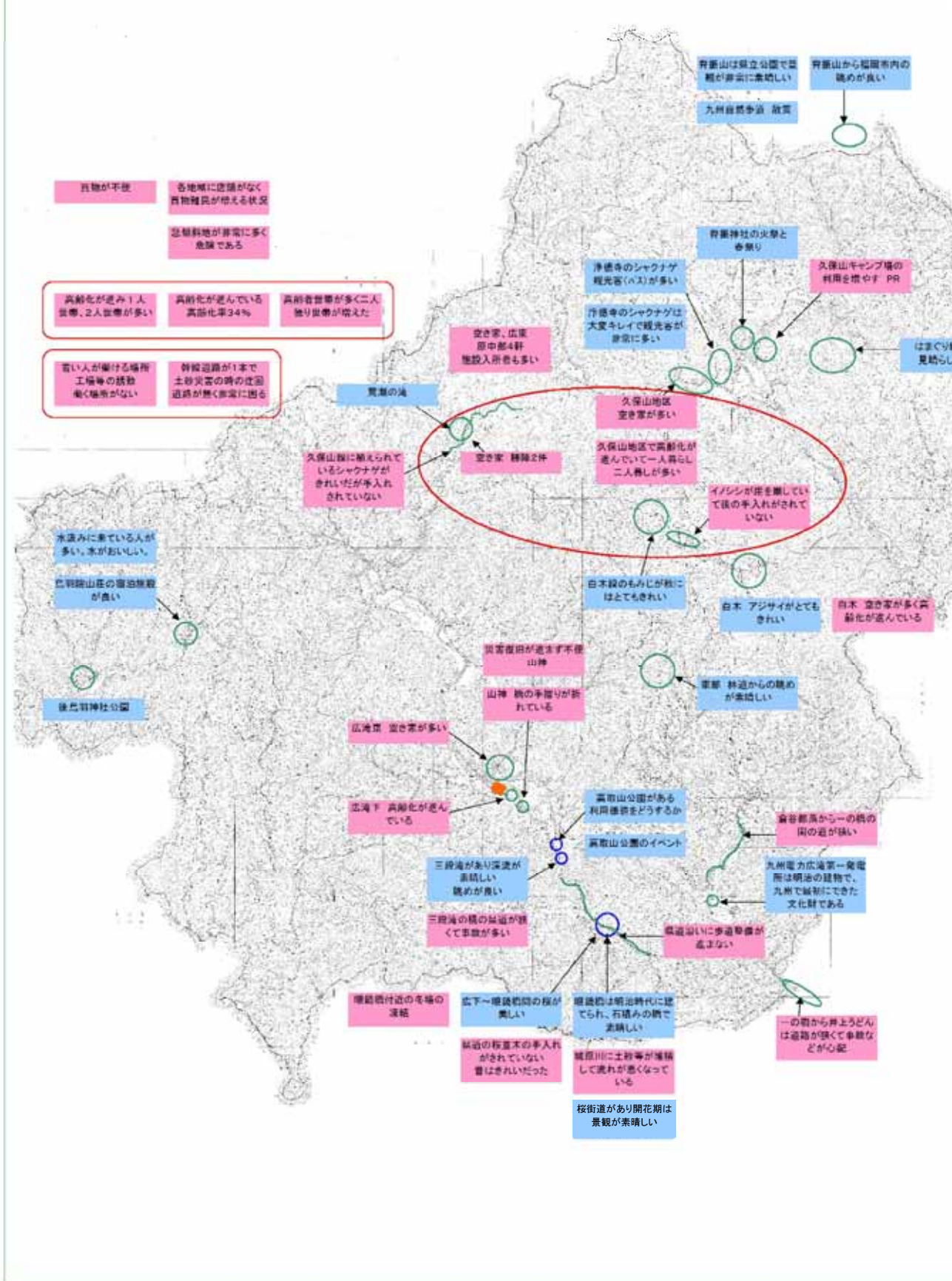
第2回「神楽市まちづくりワークショップ」は、  
「地域の点検マップの作成」をテーマに、1月12日  
(木)19時から行いました。登坂町6名、神楽町8  
名、千代田町6名の計20名の方が参加されました。  
まず、前回の振り返りと「まちの通信簿づくり」の各グル  
ープの深点結果とその理由を振り返りました。5つの  
分野について、地域ごとの評価や感覚の違いに気づく  
ことができました。続いて、市民アンケートの結果報  
告を受けました。

次は、今回のメインとなるワークショップです。「地域の点  
検マップづくり」をテーマに、地域ごとにグループを  
つくり、各個人でポストイットに「良いところ」「悪  
いところ」を具体的に書き出し、地図に示していく作  
業を行いました。

前回「通信簿づくり」で漠然としていた理由が、今  
回は地図を使うことで、箇所や内容がより具体化され  
て、視覚的にも整理することができました。

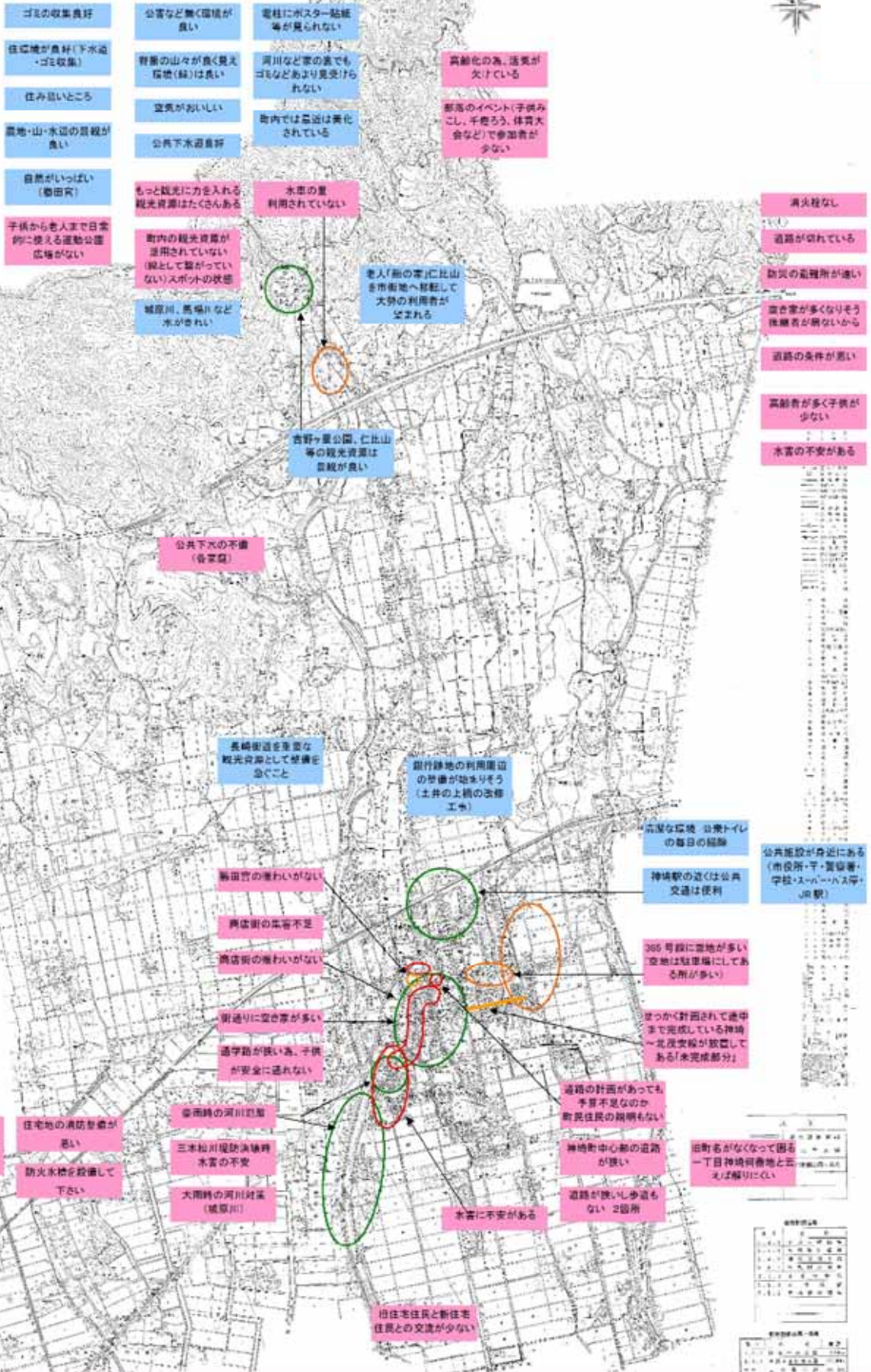


育振町



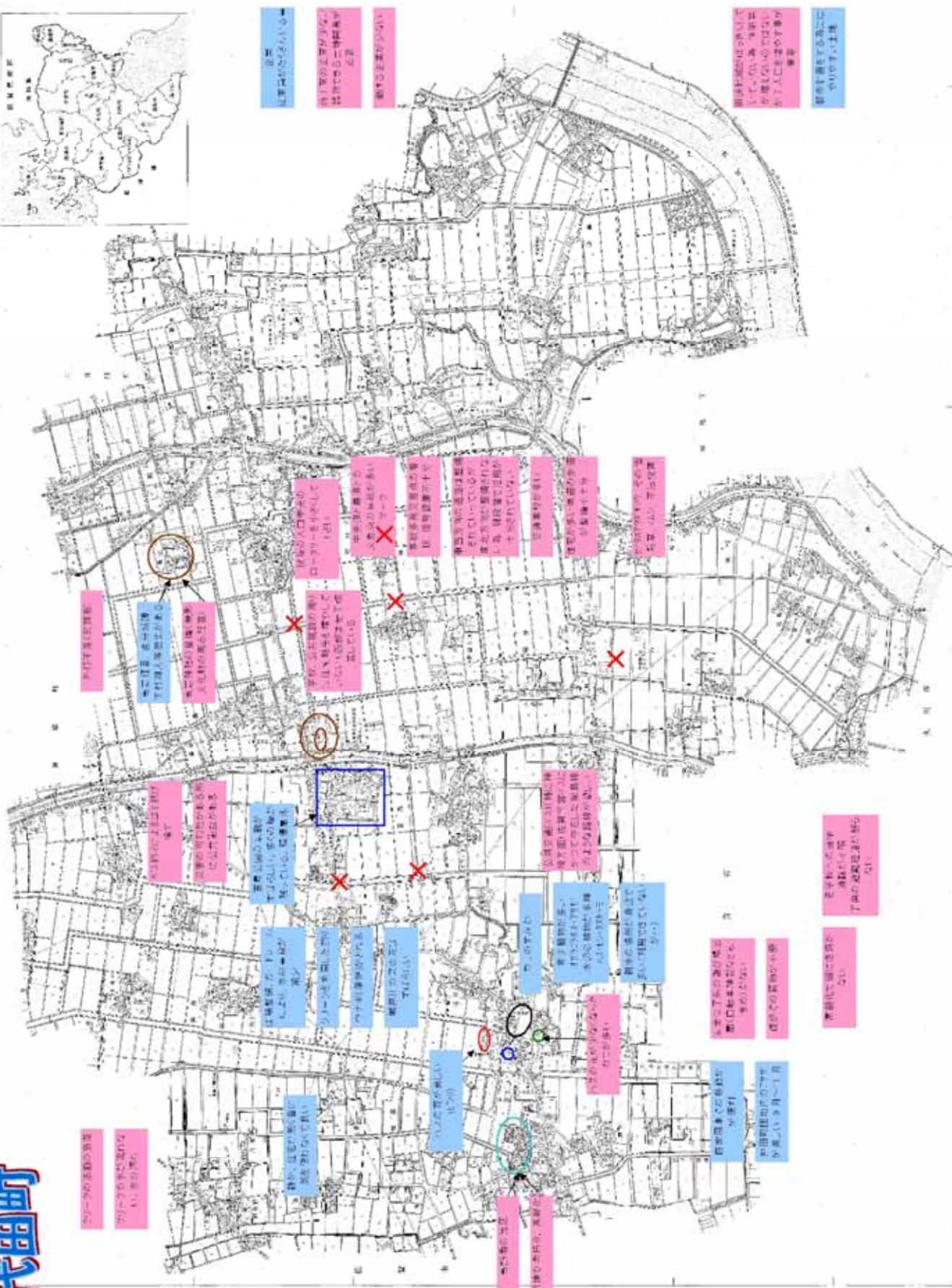


# 神埼町





## 千代田町



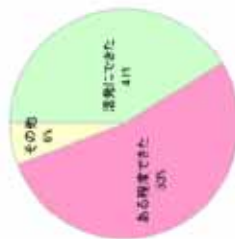


## ■アンケート結果

問1 参加者のみなさんについてお知らせください。(性別・年齢・お住まい)



問2 本日の作業はいかがでしたか。



問4 全体の印象はいかがでしたか。



その他 (欠席者から頂いたご意見)

- ・商店街にお客さんの利便性に対して応対する所づくりに取り組む。自分自身の商業の技術を生かすにつけては結果を出す。個性のある小売店・飲食店もまだまだ伝統はあると思う。東日本大震災を乗り越え、安全な町づくり。
- ・道路整備を3丁目〜1丁1丁の溝・側溝を早急に。事故があつてからは遅いと思う。(安心・安全な町づくり)
- ・旧古賀銀行は神楽町の歴史の遺産と思う。市の資産になった。文化・歴史遺産、農工商物産館として、観光パワーを利用して歴史遺産。CSOまちづくり、神楽町役所北側でいかに活用したいものか。
- ・料金を見直し、若根・千代田・神楽も高齢者の為のコンビニエンスストアを福寿屋で考えていってほしい。
- ・「水の道」神楽。川を活かして、馬場川の低信用組合の東にいいのオアシス、子供の思い出作りを実現したい。

問3 本日のワークショップで、一番印象に残ったことは。

- ・タリートの有効活用と観光資源化が千代田の力を高める方向ということ
- ・それぞれの考えがあるもので物議になった
- ・やはり神楽町は緑・水の所だと思った。3町をつなぐ城原川にターゲットを絞った所も面白いと思った。
- ・何をどうやって活かせる意見が多く出るようになってきた。
- ・昔ながらのタリートの活用を地域の財産であり、千代田活性化の核として活用していきたいと考えていたこと
- ・具体的取り組みについて、別の目標で進めることができた。
- ・具体的取り組みのビジョンが浮かんだように思いました。
- ・市民ができることもたくさんあることに気付いた。今までは「なんでも行政」と思っていたところを市民だけで進めることができることに気づきました。
- ・市民当事者のまちづくり推進になった。
- ・神楽町の発表者
- ・知らない事、気づかない事を知ることが出来た。
- ・地域のいろいろな問題を皆で考えて語りながら、その解決策を取り組んでいけば、何事が多岐にわたり、大きな成果につながる事ができるので、大企業・新事業・ワークショップでありました。
- ・町で、番つかえる物をたくさん進めていく。
- ・道路整備等については3町が同じ意見だったこと。

問5 自由意見 (意見抜粋)

- ・まだまだ行政というところもあります。でも今、番つかえることは、リーダーシップを発揮してくれる強いリーダーが必要ではないかと思いましたが、2/25にあるまちづくりの講演会にみえる神楽町の公民館長さんみたいな人。
- ・各地区とも要領見直し、結構多い。
- ・市と市民の協働を推進するために、行政側と意識改革をしてほしい。もちろん市民側の意識改革も大切だが、
- ・まちづくりの意見が出ているが、コンセンサスも調整しているか。
- ・次回で最後だが、3町を巡った1つの意見を作り上げられればよい。

## 第3回

# 神楽市まちづくりワークショップ

## 地域の将来像と具体的取り組みを考えよう!

### 本日のプログラム

1. 開会
2. あいさつ
3. 前回の振り返り
4. 本日の進め方
5. 「地域の将来像」の検討
6. 「具体的取り組み」の検討
7. 発表・意見交換
8. 閉会

### ワークショップの構成

第1回 平成 23 年 12 月 15 日 (木)

●「ガイダンスとまちの通信簿」

第2回 平成 24 年 1 月 12 日 (木)

●「地域の点検マップの作成」

第3回 平成 24 年 1 月 26 日 (木)

●「地域の将来像と  
具体的取り組みの検討」  
将来像は言葉 (フレーズ) で整理し、  
取り組みは地図上に整理しました。

第4回 平成 24 年 2 月 9 日 (木)

●「地域の重点プロジェクトの作成」

第3回「神楽市まちづくりワークショップ」は、「地域の将来像と具体的取り組みの検討」をテーマに、1月26日(木)19時から行いました。神楽町6名、神楽町7名、千代田町5名の計18名の方が参加されました。

まず、前回の「地域の点検マップづくり」作業の振り返りを行いました。3つの地域ごとに、地図上でどんな「良いところ(宝・資源)」「悪いところ(課題・問題)」があるのか確認していただきました。

今回のワークショップは、まず「地域の将来像」をテーマに、思いつくイメージを言葉にして模造紙上に整理しました。

次に、前回作業成果の「宝・資源」と「課題・問題」を活かす・改善するため、ポストイットに「具体的な取り組みアイデア」を書き出し、地図に示していく作業を行いました。さらに、その主体を「行政」「市民・地域」「協働」で色分けしました。

今回の作業により、前回点検マップだった地図は、今後の取り組みマップとなり、その主体が明らかになりました。過去経験した他地域での成果に比べ、神楽市は「市民・地域」「協働」の取り組みが多く、自主性の高さに特徴があると感じました。





## 脊振町の将来像（キャッチフレーズ）

- ・子供達が楽しく遊べるまち
- ・若者が定住できるまち
- ・自然を満喫しよう
- ・清流と遊ぶ子供の笑顔
- ・自然を活かしたレクリエーションのまち
- ・人が集まってくるようなまち
- ・溪流遊びの出来るまち
- ・自然豊かな観光のまちで都会から人を呼び込める花一杯のまち
- ・跡取り息子さんが帰ってくる魅力あるまち
- ・森林の里
- ・畫圖（苑）の里

### 行政

### 市民・地域

### 協働

#### 防災

急傾斜地を整備し災害が少しでも少なくて安全安心なまちづくりをつくる

道路を早期に年間を通して安全で通れる状態にすること

#### 観光

観光ボランティアの教育→案内

温泉を満喫し自然とマッチした温泉地を創り観光地にする

自然散策が出来る様、道路の整備及びマップの作成

観光地として活用できる所の整備（駐車場、売店）

山菜を中心とした食材で露店レストランをつくり人を呼び込む

歴史文化遺産を生かした観光地をつくること

#### 空家

老人が多いので買物に不便を感じる為、行商の方が地区回りなどをしたらどうか

市営が多い為はどうするか老人達が共同生活をする

一人暮らしの人が安心して生活できるように長屋を作り共同生活の中で共助共栄体制を確立する

通判面が賃貸・短期になっているが距離が少し遠く経路で通れる新道路を建設すること

地域長屋の運営は地域ボランティアで…

地域長屋の設置（空家を利用）全地区へ

空家マップを作成し入居者を募る

空家の活用（老老所）各地区ごとに設ける

老人が元気で活動出来るイベントを計画し又場所を確保してやる

子供クラブで老人との交流を希望しているが、うまくいっていないので何か方法がないか考える

久保山キャンプ場をHPに載せているか？また、更新できているか？

久保山地区の空家を観光資源に…

地元の豊かな森林が有効に活用できるようにいろいろな加工品を創り、休日に来る人が寄ってくる加工場

後鳥羽神社への入場道路の整備及び公園を利用した行幸（花見）

溪流遊びでより安全性を確保するための整備

川遊び場所（一帯一帯）整備を進める

新しい道を早く整備して開通

三股海の周りに遊歩道があるのにとぎれていたり、歩けなかったりする

真取山への道路（道路）整備（峠道から見える看板）の設置

新しい道を早く整備して開通

道路の整備、拡張、季節が経てから遅い（一ノ橋〜仁比山）



## 神埼町の将来像（キャッチフレーズ）

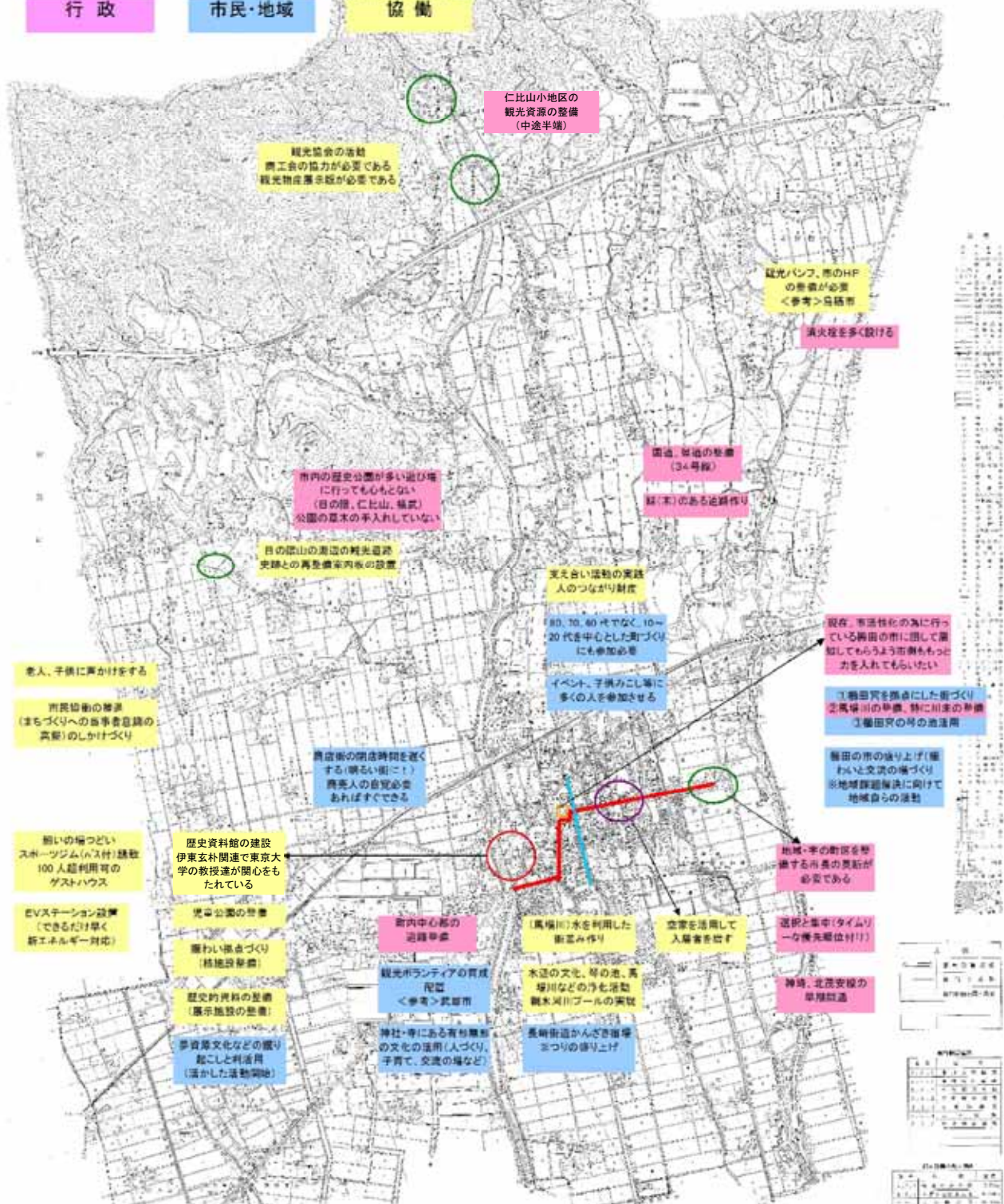
- ・地域間の交流（近所づき合い）懇話改革 ・若さと活力に満ちた元気なまち ・歴史と文化財に満ちた楽しいまち
- ・神埼町が交流拠点となる（青森～神埼町～千代田を結ぶ直線道路が必要）
- ・学園都市づくり（市内の若者が減少しているので西九州大生と市の交流を活発に）
- ・若人と子供にやさしいまち、にぎわいのあるまち、通勤通学が便利なまち
- ・子育て環境 No.1 まちづくり、コンパクトシティづくり
- ・あるものを生かすまちづくり、誇りあるまちづくり、歴史文化を誇る人づくりまちづくり、住む人も来る人も楽しいまちづくり
- ・水と緑と歴史のまち、「つながりよう気持ち、つながろう地域」、市民自らのまちづくり



行政

市民・地域

協働







・モデルとなる住みよい環境を作る（住宅地、工業団地、商業地、農地等用途地域を明確

- ・にした都市計画、道路計画)
- ・クリーク、農地を有効活用出来るまち
- ・車でも自転車でも徒歩でも安全に便利に暮らせるまち
- ・観光地を造りあげ、集客する。
- ・高齢者と子供が安心して暮らせるまち
- ・水辺がもっと身近に感じられるまち
- ・クリーク法面に紫陽花を植樹し水環境の良いまちづくりを行う。観光。
- ・クリークの美化、環境を改善し、クリークを活用したまちおこし ※防災、安全は優先
- 花、緑いっぱいのもち



## ■アンケート結果

問1 参加者のみなさんについてお知らせください。(性別・年齢・お住まい)



問2 本日の作業はいかがでしたか



問4 全4回の印象はいかがでしたか



問5 今後の活動意欲に変化があったか



問3 全4回のワークショップで、一番印象に残ったことは

- ・回を重ねるごとに、活発な意見が多く出るようになってきた。
- ・みなさんがとても熱心なことに感心しました。
- ・毎回のまとめの資料結果が、とてもよくできていて感心しました。
- ・具体的な企画につながるようなプランが4回でき、なおかつ市民レベルでできたことはすごいと思った。
- ・考えていたことが、みなさんよく知っていられた。
- ・最終回のプラン作成が興味深かった。
- ・最初でできる不安だったが、やってみて何とかできてほっとした。
- ・市民当事者のまちづくり推進になった。
- ・自分たちでできることがたくさんあること、良い所や悪い所が見えてきたことは、大変良いことと思えました。
- ・第4回が、結果的にはよかった。
- ・第4回ワークショップで各地域ともきれいなまとめでできたこと。
- ・地域のいろいろな問題が、今回のワークショップで発見できたと思えます。今後のワークショップが地域のまちづくりに大いに活かされることを期待します。
- ・町の中で取り組める機会があればぜひ参加したい、関係の多さから始めるべきかもっと学びたいと実感しています。

問6 ワークショップに参加した感想は

- ・これで終わりではなく、今回の内容を十分にいかしてほしい。
- ・まずは、歩路を出すことが大事なことではわかるが、今からの仕事と合わせて考えなければならぬのが最も難しい。でも、まず自分たちで、地域の防災マップ作りを手がけなければいけない。
- ・みなさんのまちづくりに対する熱意が強く感じられた。
- ・各地区とも要望意見等、結構多い。
- ・行政と市民が一体となるための方を、行政側も考えてほしい。
- ・今後とも大いに頑張りたい。
- ・今後のまちづくりに関係をもった、活動もしていきたいと思った。
- ・できるまでは前になつたが、来てやっているうちに楽しくなった。
- ・神埼をもっと知ってみたいと思った。
- ・神埼市の都市計画をする上で、今回のテーマが基礎づくりになると思います。
- ・人々の意見が多く聞くことができた。
- ・神埼、千代田、伊集院と色々な地域があった。
- ・地域で始める事例が多く行政のアドバースが必要です。

# 第4回 神埼市まちづくりワークショップ 地域の重点プロジェクトの作成!

今回でいよいよ最終回、第4回「神埼市まちづくりワークショップ」は、「地域の重点プロジェクトの作成」をテーマに、2月14日(火)19時から行いました。当初の予定は9日(木)でしたが、雪の影響で延期が決定し、延期となりました。急な日程変更にもかかわらず、計13名の方にご参加いただきました。

まず、前回の「地域の将来像と具体的な取り組み」の振り返りを行いました。地域ごと、今後の取り組みで、どんなアイデアが出されたかを確認しました。

今回のワークショップは、まず「地域の重点プロジェクト」の絞り込みから行いました。赤シール「すぐにもできそうなもの」、青シール「地域の課題を解決してくれるもの」の2つの視点から、各プロジェクトに投票を行い、2つの重点プロジェクトを抽出しました。

次に、例示を参考に、企画シートに沿って、具体的な内容を検討しました。その結果として、各地域2案、計6案のプロジェクト企画が完成。項目に沿って検討するうちに、より具体化され、今後活動を進めるのに必要な人・物・情報が明らかになっていきました。

終了後のアンケートのご意見にもあるように、4回という短いワークショップの中で、具体的な企画まで市属レベルでできたことは、実は素晴らしいことです。みなさんの思いが詰まったこの企画を、まわりの協力を得ながら、ぜひ実現させていきましょう!



## 本日のプログラム

1. 開会
2. あいさつ
3. 前回の振り返り
4. 本日の進め方
5. 本日のワーク  
「地域の重点プロジェクト」の検討
6. 発表・意見交換・まとめ
7. 閉会

## ワークショップの構成

第1回 平成23年12月15日(木)  
●「ガイダンスとまちの通帳簿」

第2回 平成24年1月12日(木)  
●「地域の点検マップの作成」

第3回 平成24年1月26日(木)  
●「地域の将来像と  
具体的な取り組みの検討」

将来像は、7業(フリース)で整理し、  
取り組みは地図上に整理しました。

第4回 平成24年2月14日(火)  
●「地域の重点プロジェクトの作成」





## 神崎市都市計画マスタープラン

発 行：平成 24 年 3 月

編 集：佐賀県神崎市産業建設部建設課

佐賀県神崎市神崎 410 番地 〒842-8601  
tel 0952-52-1111(代) fax 0952-52-1120  
URL <http://www.city.kanzaki.saga.jp>